

「 第3回 イングリッシュアドベンチャー 」

～赤城の森で英語体験～

1. 趣旨

2020年度の小学校新学習指導要領の本格実施に向け、国立の教育機関として、教育内容の改善と充実を目指し、本事業を実施する。昨今の保護者の英語教育に対する関心やニーズは高く、新学習指導要領の内容をプログラムに取り入れながら、英語をコミュニケーションツールとして位置づけ、小学生の体験活動を推進する一助とする。

2. 事業の概要

(1) 期日

平成30年11月24日(土)～25日(日)

(2) 参加者

①参加対象 小学校5年生

②参加人数 23名 (応募総数37名)

群馬県前橋市18名、渋川市1名、太田市1名、吉岡町1名、
東京都立川市1名、茨城県古河市1名、

3. 企画運営のポイント

- ①体験活動を中心に据え、積極的に英語を用いてコミュニケーションを行いたいと思う場면을意図的に設定し、楽しみながら英語に親しみ、英語を使ってコミュニケーションをしてみたいと思わせるプログラム構成にする。
- ②野外炊事や自然体験活動に係るプログラムについては、事前に当所職員が外部講師に対して進行方法や安全管理等の事前指導を行う。外部講師は各プログラムの中でパネル等を活用するなど、小学生が英語を使いやすい雰囲気づくりを行う。

4. 日程

	午前	午後	夜
11月 24日 (土)	開会式 仲間と英語ではじめまして！ ・アイスブレイク ・スカベンジャーハント	英語を使ってドラム缶ピザ作り ・デザートピザコンテスト	英語を使ってキャンプファイヤー ・英語の歌遊び (Hokey Pokey、ロンドン橋落ちたなど) ・スモアづくり
11月 25日 (日)	イングリッシュレストラン① ・開店準備 ・リハーサル	イングリッシュレストラン② ・英語を使って買い物 振り返り 閉会式	

5. 主な活動内容



講師によるインストラクション



ドラム缶でピザ生地を焼く



イングリッシュレストラン

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 2 2 名 (9 6 %) やや満足 1 名 (4 %) やや不満 0 名 不満 0 名

(2) 参加者の声

- ・英語はもともと好きだけど、イングリッシュアドベンチャーに来て、もっと好きになった。
- ・最初は知っている人がいなくて、不安だったけど、みんながやさしく声をかけてくれたので、2日間とても仲良くなることができて、うれしかった。
- ・英語の楽しさが一段と増したと思い、これからも続けようと思った。
- ・24日に会ったばかりなのに、とても仲良くできた友達がいる、とてもうれしかったです。特に寝る前に少し話をして、とても楽しかったです。
- ・チームリーダーがリードしてくれてありがたかった。ありがとう。

(3) 成果

20名の定員に対して、37名の応募があり、抽選で23名を決定した。最終回である今回は、前橋市教育委員会の協力を得て、ALT 2名を講師として迎えた。

ALTとは事前の打ち合わせ会議を2回設け、学習指導要領に対応した2日目の英語活動の内容を検討した。前日には、スカベンジャーハントのやり方やデザートピザの作り方を赤城職員がレクチャーし、事業当日に臨んだ。

2日目の「イングリッシュレストラン」は学習指導要領に対応した英語活動である。教科書「We can!」のビュッフェ形式レストランの単元をベースとしながら、実際に当日の赤城のレストランのメニューもその中に加えて、自分の食べたいものを英語で伝え、メニューを完成させる活動を行った。英語をコミュニケーションツールとして用いながら、体験活動の楽しさや英語でコミュニケーションをすることの楽しさを実感でき、これからも英語を学ぼうとするきっかけとなったことが参加者アンケートから見受けられた。

参加者同士が体験活動を行うなかで、お互いに仲良くなり、とても満足していたことがアンケート結果から分かった。

(4) 課題

ALTに講師を依頼しているため、プログラム進行や英語活動の打ち合わせを念入りに行う必要がある。このため、通常事業より打ち合わせ回数が多くなってしまいうので、講師が日程調整するのが大変である。逆に、内容についてはこちらの意見と講師の意見を摺り合わせながら、より良い活動を作りあげることができるというメリットがある。

担当 主任企画指導専門職 田村 佳之